

平成31年度  
科学研究費助成事業－科研費－  
全学説明会

科研費  
K A K E N H I

研究支援課研究協力係

平成30年9月3日



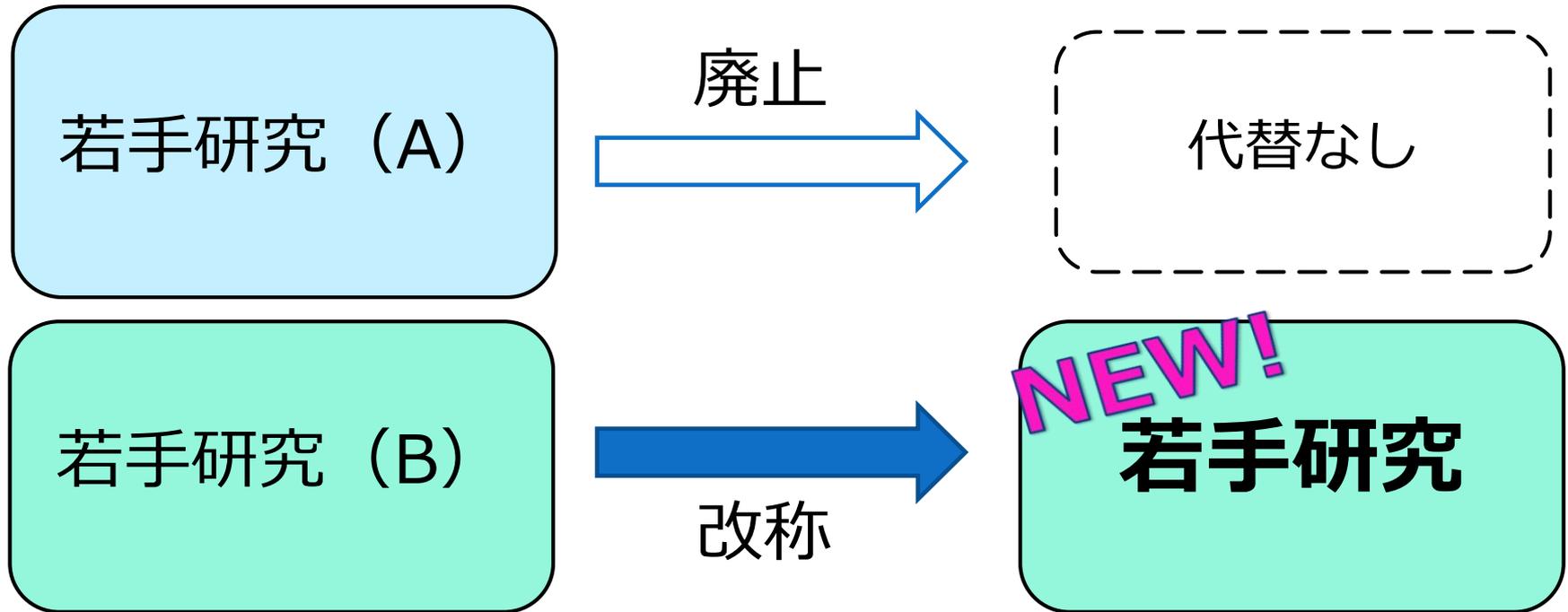
# 目次

- ◆平成31年度科研費の主な変更点
- ◆応募手続上の注意事項
- ◆不正使用・不正行為の防止

# 目次

- ◆平成31年度科研費の主な変更点
- ◆応募手続上の注意事項
- ◆不正使用・不正行為の防止

# 「若手研究」の変更①（前回から）



- ◆ 若手研究(A)は廃止、若手研究(B)は「若手研究」に改称
- ◆ 応募上限額 = 若手研究(B)並みに（500万円まで）

# 「若手研究」の変更②（前回から）

※平成31年4月1日時点で…

## 変更前

39歳以下の者（学位に関係なく可）

## 変更後

博士の学位取得後8年未満の者

- ・平成23年4月2日以降に取得した者
- ・取得見込みの者や、取得の産前/産後/育児休業を除くと8年未満になる者も含む

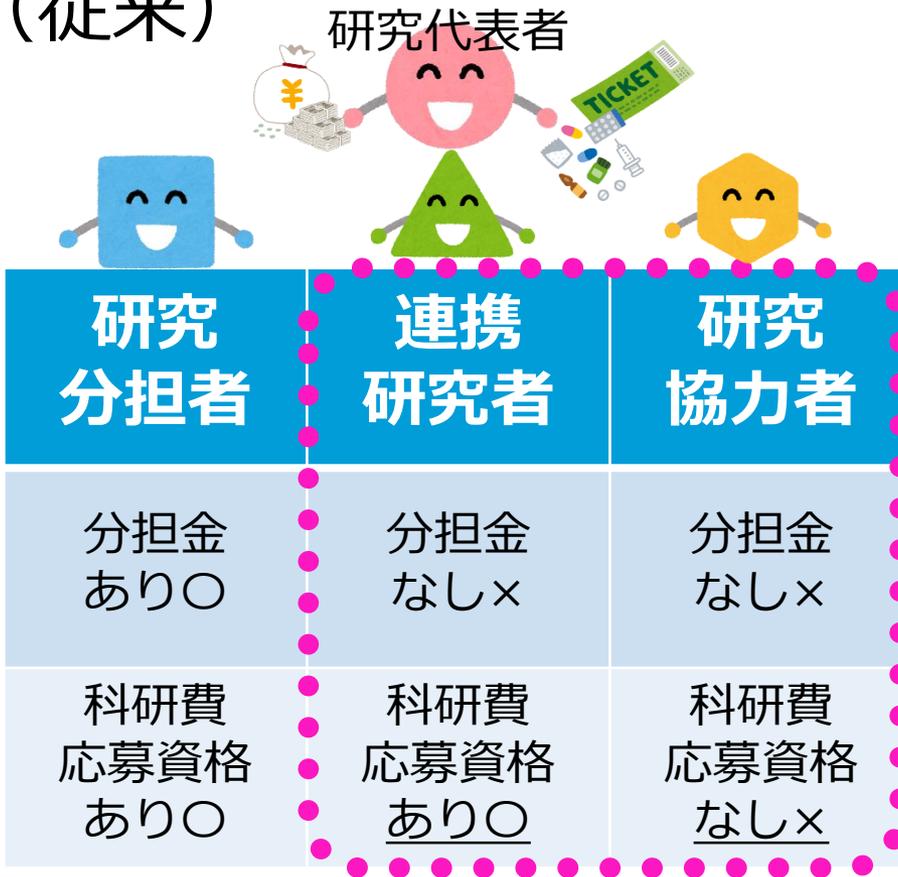
## 経過措置

博士の学位未取得の39歳以下の者も可

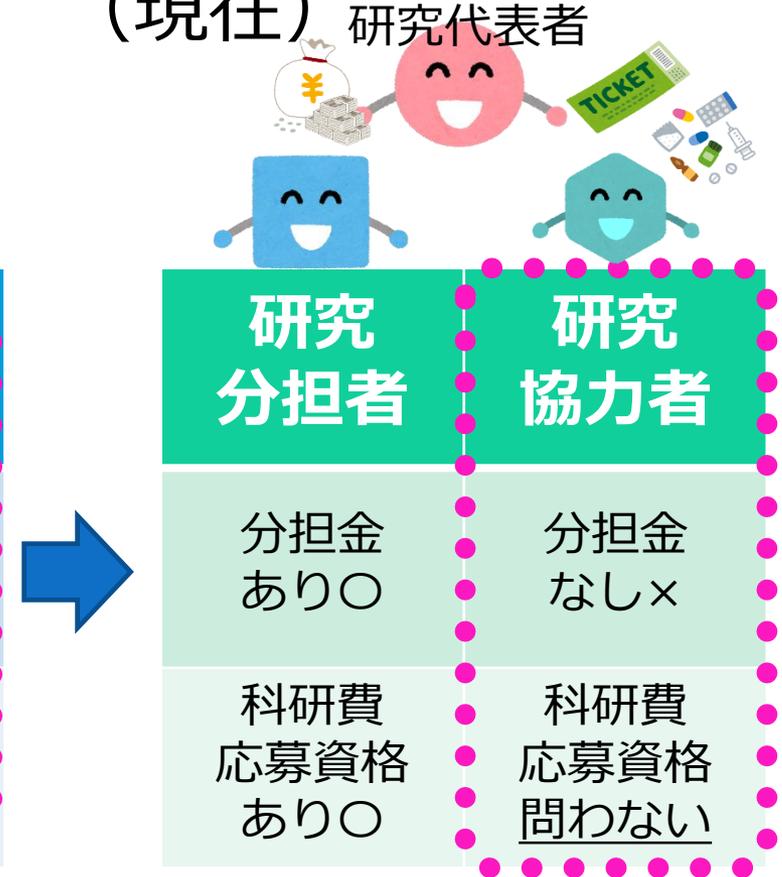
- ◆今年も「博士取得日」と「年齢」に注意
- ◆採択回数制限は続行（人生で2課題まで。リセットなし）

# 「連携研究者」の廃止

(従来)



(現在)



- ・ 分担金あり ⇒ 「研究分担者」
- ・ // なし ⇒ 「研究協力者」に統一

# 研究分担者を加える場合の手続き

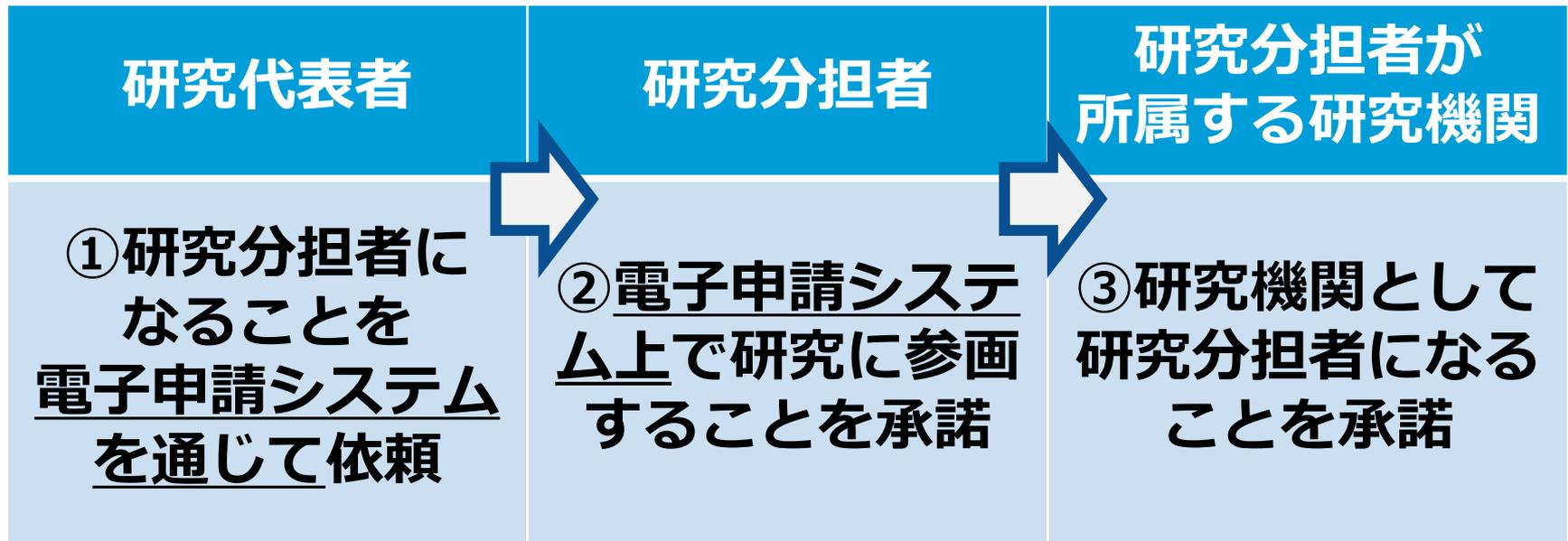
(前回)

承諾書 (紙・押印)



(今回から)

電子申請システムで手続き



- ◆ 研究分担者全員の承諾後に、電子申請システムで調書の提出ボタンが押せるようになります
- ◆ 操作方法は研究支援課HPに後日掲載予定です (P.36参照)

# 「研究業績」欄の改訂

## 前回

### 3 研究代表者および研究分担者の研究業績

本欄には、研究代表者、研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち重要なものを選定し、現在もしくは過去から発表年次の順に、通し番号を付して2頁以内で記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りです。

学術誌論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記入してください。以上の項目が記入されていれば、項目の順序を入れ替えや、著者名が多数の場合、主な著者名のみ記入しその他の著者を省略することは問題ありません。研究代表者には二重下線、研究

**NEW!**

「業績」専用の欄(2枚)がカット  
⇒「これまでの研究活動」「研究環境」欄となり、業績も含めて2枚に収める

## 今回

### 3 応募者の研究遂行能力及び研究環境

**業績は↓ここに含める**

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について2頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

# 目次

- ◆平成31年度科研費の主な変更点
- ◆**応募手続上の注意事項**
- ◆不正使用・不正行為の防止

# 応募資格

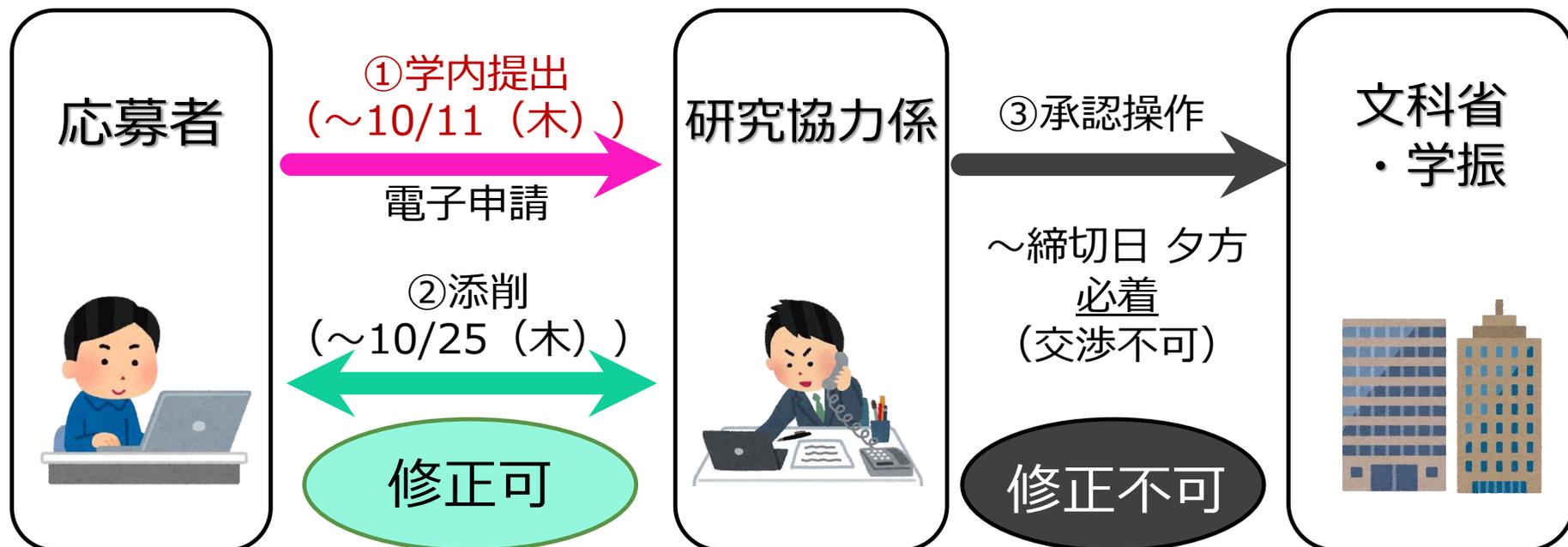
- ①研究活動を行うことを職務に含む者
- ②研究活動に実際に従事していること（研究補助のみの場合は不可）
- ③大学院生等の学生でないこと

## ◆ 本学の場合…

職名	応募資格
教員	○
医員（大学院生を兼ねても可）	○ ※学内承認が必要 研究支援課HP（p.36）参照
研究生	
その他（①②を満たす者）	
大学院生（職務のない者）	×
その他職員（●●師、●●士、●●員など）	「奨励研究」のみ応募可

# 応募の流れ

- ◆ 「電子申請システム」を使用（p.31参照：紙提出なし）
- ◆ まずは学内提出期限【**10月11日（木）**】の厳守をお願いします
- ◆ 学内提出後も修正できます。ご安心ください【**10月25日（木）**】  
（全件、メールで添削結果をお知らせする予定です）



# 電子申請システムの利用準備

- ◆ ID・パスワードは「e-Rad（府省共通研究開発管理システム）」に登録してあるものを使用します（p.31参照）

## 未取得の場合

- ◆ 研究協力係より『申込書 』を入手・提出  
(掲載先：研究支援課HP（p.36参照）)

※パスワードはメールで届くので、**必ずメールアドレスを添えて！**

手続き後、システム反映まで30分～1時間かかります

奨励研究応募用の電子申請システムについては、別途通知します

# ID・パスワードを忘れてしまったら

## 再取得方法

- ◆ e-Rad (https://www.e-rad.go.jp) ページ右上【ログイン】の下  
▶ID・パスワードを忘れた方 からご確認ください

e-Rad  
Research and Development

### 府省共通研究開発管理システム

ホーム

ログイン

e-Radとは 公募一覧 登録・手続き▼ 操作マニュアル▼ お問合せ方法

▶ ID・パスワードを忘れた方

よくある質問と答え

科研費電子申請システム

科研費の応募、交付申請はこちら

府省共通研究開発システム（e-Rad）は、各府省等が所管する競争的資金制度を中心とした公募型の研究資金制度について、研究開発管理に係る手続きをオンライン化し、応募受付から実績報告等の一連の業務を支援するとともに、研究者への研究開発経費の不合理な重複や過度の集中を回避することを目的とした、府省横断的なシステムです。

e-Radは、公募型の研究資金制度を所管する関係9府省により運営しており、各府省の協力の下、文部科学省がシステムの開発及び運用を行っています。

パスワード再発行/ログインID再通知

パスワードの再発行とログインIDの再通知の手続きを行います。  
それぞれの手続きを行うには、以下のリンクをクリックしてください。

パスワードを忘れた方はこちら ログインIDを忘れた方はこちら

お問合せ 操作マニュアル 経過時間 (00:08)

解決しなかった場合は、  
研究協力係へご連絡ください！

# 研究計画調書の作成①

## ①（先にWord）応募内容ファイルの作成

- ◆ 応募内容ファイル（Word ）をダウンロードし、記入

## ②（次にweb前半/後半）電子申請システムへの入力

- ◆ 応募種目、経費情報など、必要事項を画面上で入力
- ◆ ①のファイル（Word  またはPDF ）のデータ登録

取込前に自前でPDF化しておくと、文字化け等が減ります

3MB超、枚数超過・不足のファイルは取り込めません

# 研究計画調書の作成②

審査委員の採点項目は指定 & 公開されています

＊参考＊ 日本学術振興会：審査・評価について ～「書面審査の手引」  
[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

ほとんど「設問のまま」です！  
【p.22-28参照】

## 1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「**に関する規程**」（公募要領●頁参照）を参考にすること。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、**本研究の目的**および**学術的独自性と創造性**、(3)本研究で何をどのように、どこま

設問には必ず回答（可能なら番号順）

⇒「この項目の記載が見当たらない」等の理由で減点されないように

# 提出完了の確認

※昨年度の画面です

The screenshot shows the JSPS research fee application system interface. At the top, it says 'JSPS 科研費電子申請システム' with 'ヘルプ' and 'ログアウト' buttons. The breadcrumb trail is '応募者向けメニュー > 応募情報又は研究計画調書確認完了確認 > 応募情報又は研究計画調書確認完了'. The main message area is titled '応募情報又は研究計画調書確認完了' and contains the following text: '所属研究機関担当者が確認できる状態になりました。' followed by instructions to print PDF files. A button labeled '応募情報又は研究計画調書の確認' is visible. Below this, there are instructions on how to correct or delete information and how to check the application status. At the bottom, there is an 'OK' button and a 'ログアウト' button. A red arrow points from the bottom text box to the main message area.

JSPS  
科研費電子申請システム

ヘルプ ログアウト

応募者向けメニュー > 応募情報又は研究計画調書確認完了確認 > 応募情報又は研究計画調書確認完了

**応募情報又は研究計画調書確認完了**

所属研究機関担当者が確認できる状態になりました。  
応募情報又は研究計画調書を印刷する場合には、以下の[応募情報又は研究計画調書の確認]ボタンをクリックしてPDFファイルをダウンロードしてください。

**応募情報又は研究計画調書の確認**

応募情報又は研究計画調書を修正・削除したい場合は、所属研究機関担当者に連絡してください。

あなたの応募状況は[処理状況一覧]画面から確認してください。

JSPS Monthly (学振便り)の購読申し込みについて

科研費の公募に関する情報など、日本学術振興会の行う事業に関する最新の情報はJSPS Monthly (学振便り)からも得ることができます。お申し込みは[こちら](#)から。

OK

ログアウト

確実にこの画面まで進めて下さい  
(事務局が閲覧できるようになります)

# 目次

- ◆平成31年度科研費の主な変更点
- ◆応募手続上の注意事項
- ◆不正使用・不正行為の防止

# 不正行為・不正使用の防止

不正を行った「個人」だけでなく  
「研究機関（大学全体）」が処分を受けることがあります

研究機関で不正が発生した場合… (p.29-30参照)

- ・不正調査のために多大なコストが発生（金銭・時間）
- ・組織全体の信用が失墜
- ・研究費の返還や、追跡調査など、様々な処分

判断に迷うこと等がありましたら  
まずはご相談ください（連絡先：p.35）

～ 以下 參考資料 ～



# この秋に公募する研究種目

所管	日本学術振興会	文部科学省
公募 種目	特別推進研究	新学術領域研究
	基盤研究 (S・A・B・C)	特別研究促進費
	挑戦的研究 (開拓・萌芽)	
	若手研究	
	奨励研究	
	研究成果公開促進費	

(「研究活動スタート支援」も来年3～5月公募予定)

# 研究種目の概要・本学採択率

種目		参加数	応募金額	研究期間	本学採択率 (H30年度)
新学術領域研究	(公募)	1人 ～複数	10～1,000万円	2年	0.0%
	(計画)		1,000万～3億円	5年	
基盤研究	(S)	1人 ～複数	5,000万～2億円	5年	-
	(A)		2,000～5,000万円	3～5年	-
	(B)		500～2,000万円		21.4%
	(C)		10～500万円	24.2%	
挑戦的研究	(開拓)	1人 ～複数	500～2,000万円	3～6年	-
	(萌芽)		10～500万円	2～3年	0.0%
若手研究		1人	10～500万円	2～4年	23.9%
奨励研究		1人	10～100万円	1年	16.7%

# 評価基準① ※前回のもの

- [評価要素] (1) 研究課題の学術的重要性・妥当性  
 (2) 研究目的、研究方法の妥当性  
 (3) 研究遂行能力及び研究環境の適切性  
 (4) 研究課題の波及効果

4つの評価要素を  
4段階で審査します

評点区分	評価基準
4	優れている
3	良好である
2	やや不十分である
1	不十分である

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
 書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

# 評価基準② ※前回のもの

## [評価要素] (1) 研究課題の学術的重要性・妥当性

- ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。
- ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか。

### 1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領111頁参照）を参考にしてください。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3頁以内で記述してください。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述してください。

本研究を研究分担者とともにを行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

# 評価基準③ ※前回のもの

## [評価要素] (1) 研究課題の学術的重要性・妥当性 つづき

・ 研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか。

### 2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1) 本研究の着想に至った経緯、(2) 関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(3) これまでの研究活動、(4) 準備状況と実行可能性、について1頁以内で記述してください。

「(3) これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めても構いません。

✿ 抜粋 ✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

# 評価基準④ ※前回のもの

## [評価要素] (2) 研究目的、研究方法の妥当性

・研究目的が明確であり、その研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。

### 1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は「小区分」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領111頁参照）を参考にしてください。

本欄には、本研究の目的と方法などについて、3頁以内で記述してください。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述してください。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述してください。

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

## 評価基準⑤ ※前回のもの

### [評価要素] (3) 研究遂行能力及び研究環境の適切性

- ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか。
- ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか。

### 2 本研究の着想に至った経緯など

本欄には、(1) 本研究の着想に至った経緯、(2) 関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(3) これまでの研究活動、(4) 準備状況と実行可能性、について1頁以内で記述してください。

「(3) これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めても構いません。

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

## 評価基準⑥ ※前回のもの

### [評価要素] (4) 研究課題の波及効果

- ・本研究課題によって成果があがった場合、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか。

計画調書の設問に記載はありませんでしたが 審査の対象でした！

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jspgs.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jspgs.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

# 評価基準⑦ ※前回のもの

## [1段階目の審査における総合評点]

評価要素 (1) ~ (4) に着目しつつ、総合的な判断の上、4段階評価が行われ、総合評点が付されます。

評点区分	評点分布の目安
4 ※非常に優れている	10%
3 ※優れている	20%
2 ※普通	40% ↑採択ラインです
1 ※劣っている	30%
利害関係があるので判定できない	—

✿抜粋✿ 日本学術振興会：基盤研究(B・C)(応募区分「一般」)、若手研究の  
書面審査における評価基準等(平成30年度)

[https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html](https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html)

# 不正行為の防止

## 不正行為とは

- ◆ **特定不正行為**： ①ねつ造 ・ ②改ざん ・ ③盗用
  - ◆ 処罰（資金返還・応募制限・氏名公表・人事処分・刑/民事訴訟）
  - ◆ 科研費等の競争的資金のみならず、運営費交付金等（教員研究費等）による研究も対象
- ◆ **他の不正行為**： 二重投稿、不適切なオーサーシップ等

✿参考✿ 文部科学省：研究活動における不正行為への対応等  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fusei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/)

# 不正使用の防止

## 不正使用とは

- ◆ 架空発注・雇用など（故意）、旅程変更手続忘れなど（過失）
- ◆ 科研費使用ルール、ハンドブック記載内容を参照・遵守

## 防止に向けて

- ◆ 未使用金が余ってもお咎めなし（次の応募審査には影響しません）
- ◆ 繰越制度が整ってきています（補助金・基金ともに可能）

✿参考✿ 文部科学省：研究機関における公的研究費の管理・監査  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/08122501.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/08122501.htm)

# 電子申請関連（使い分け）

## 応募操作

### ◆ 科研費電子申請システム

<http://www-shinsei.jps.go.jp/kaken/index.html>

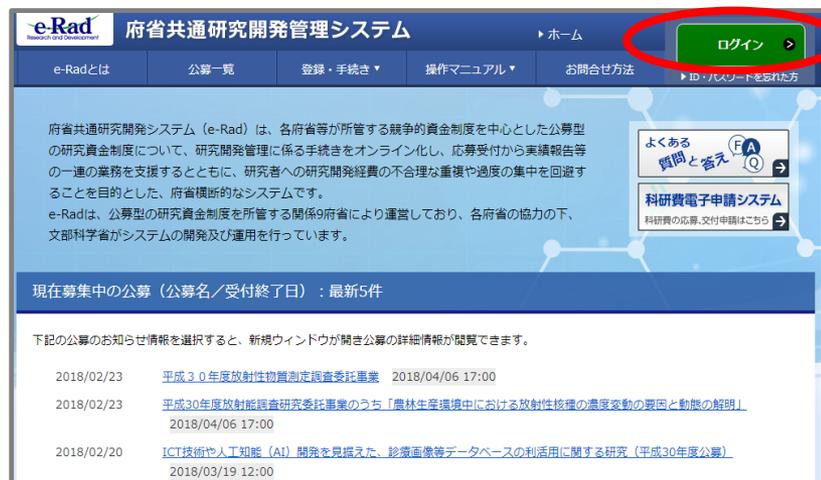


## ID・パスワードの取得

### ◆ e-Rad

(府省共通研究開発管理システム)

<https://www.e-rad.go.jp/>





## 書類添削・パスワード再発行の混雑予想

日	月	火	水	木	金	土
9/23	24	25	26	27	28	29
30	10/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 初回	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 修正	26	27
28	29	30	31	11/1	2	3

余裕あり



混雑

休み

～10/4頃まではスムーズに対応できる見込みです

# 各種資料掲載先

## 公募要領・研究計画調書

- ◆ 日本学術振興会： 基盤・萌芽・若手研究など

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03\\_keikaku/download.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html)

- ◆ 文科省： 新学術領域研究など

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/boshu/1351544.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1351544.htm)

## 科研費ハンドブック（2018年度版）

[http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15\\_hand/](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/)

応募・採択・報告書提出までが大まかにまとめられています



# 学内相談窓口

## 研究支援課長

- ◆ 電話 : 0166-68-2189 (内線 : 2189)
- ◆ E-mail : kenkyu-kacho@asahikawa-med.ac.jp

## 研究協力係

- ◆ 電話 : 0166-68-2187 (内線 : 2187,2241)  
(科研費のほか、一般的な相談、相談先が不明な場合もこちらへ！)
- ◆ E-mail : rs-kk.g@asahikawa-med.ac.jp
- ◆ Web : <http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/kenkyus/index.html>

◆ **参考** ◆ 文部科学省 (研究に関する不正の告発受付窓口)  
研究振興局振興企画課競争的資金調整室  
電話 : 03-6734-4018 E-mail : chosei-k@mext.go.jp

# 研究支援課ホームページ

http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/kenkyus/index.html

旭川医科大学 研究支援課

科研費>公募について

[新着/イベント](#)  
[各種公募](#)  
[学内公募](#)  
[科研費](#)  
[産学連携](#)  
[知的財産](#)  
[倫理委員会](#)  
[組換え・動物・病原体](#)

[TOP](#) | [公募](#) | [交付申請・立替](#) | [前倒し・繰越](#) | [実績・成果報告](#) | [厚労科研・AMED](#)

**■ 平成31年度 科学研究費助成事業-科研費-（基盤研究等） 公募情報** → [その他の種目はこちら](#)

平成31年度科研費（特別推進研究・基盤研究・挑戦的研究・若手研究・新学術領域研究・特別研究促進費・研究成果公開促進費）の公募情報を掲載しています。公募要領等の詳細情報については9月以降掲載予定です。

**■ お知らせ・更新情報**

2018.08.10 (website) [「■全学説明会」を追加しました。](#) **NEW!**  
 2018.08.10 (website) [【平成31年度科研費\(基盤研究等\)】をUPしました。](#) **NEW!**

**■ 全学説明会** **NEW!**

下記のとおり説明会を開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。 [\(開催通知PDF版\)](#)

日 時： 平成30年9月3日（月） 17：30～19：00  
 会 場： 臨床講義棟 臨床第一講義室（座席は先着順となります）  
 内 容： 下記（当日の配布資料、及び動画を随時掲載予定です）  
     ①開会挨拶（吉田 晃敏 学長）  
     ②公募要領等の説明（研究支援課研究協力係）

9月初旬に公募情報・記入例を掲載予定です